

ふしの本

2025.9

No.48

広げよう福祉の輪 つなげよう地域の輪

穴吹りバーパークス運営



エコカップ分別作業



88歳ニース調査のための在宅訪問



認知症月間の掲示物作成



地域の皆さんが
ボランティア活動に取り組んでいます

CONTENTS

- P1 会長あいさつ/理事・監事、評議員、評議員選任・解任委員選任のご報告
- P2 R6 年度事業報告 / R6 年度決算の概要
- P3 美馬市災害ボランティアセンター協定 / 介護予防サポーター養成・フォローアップ研修会 / 第3次地域福祉活動計画の活動報告会
- P4 第4次地域福祉活動計画について
- P5 祝百寿/ 2代目おもちゃ箱による影絵(池月苑) / 木屋平幼稚園との交流会(つるぎの里)
- P6 お宝発見(森遠) / 実習生受け入れ
- P7 社協会費/善意銀行

会長あいさつ



会長 大垣 賢次郎

平素より本会の事業推進にご理解ご協力賜わり厚くお礼申し上げます。

この度の役員改選に伴い、理事・評議員の皆様方のご推挙とご賛同を賜りまして、引き続き会長を務めさせていただきますことになりました、大垣賢次郎でございます。

就任にあたり、その重責に身の引き締まる思いであります。美馬市の地域福祉の充実・発展のため、誠心誠意努めてまいりますので、よろしく願います。

さて、少子高齢化に伴う人口減少が加速化し、家族形態の多様化といった社会構造の大きな変化とともに、社会的孤立や生活困窮など、公的な制度だけでは解決が難しい地域福祉課題が深刻化しております。

本会といたしましては、「第5次発展・強化計画」、「第4次地域福祉活動計画」に基づき、また、全国の社協の役職員が共有できる新たな基本要項として策定された「社会福祉協議会基本要項2025」に基づき、社協に求められる役割を担い、希薄になった人と人との繋がりを、地域のつながりなどを再構築させ、「地域共生社会の実現」を目指し、住民やボランティアをはじめ関係団体の皆様と協働し、住み慣れた地域で安心・安全に「住んで良かった」と思っていたただける美馬市になるよう、これまで同様、役職員一丸となって努力する所存でありますので、市民の皆さまにご理解・ご協力を心よりお願い申し上げます。

理事・監事、評議員、評議員選任・解任委員選任のご報告

任期満了に伴う改選により、理事会・評議員会で次の方々が選任されました。

令和7年6月27日に開催された理事会において、会長に大垣賢次郎理事、副会長に岡建樹理事、常務理事に佐和良佳理事が選任されました。

理事12名(敬称略)

任期:令和7年6月27日の定時評議員会終結のときから令和9年6月の定時評議員会終結の時まで

氏名	選出区分
岡 建 樹	行 政 機 関
小 笠 原 仁 美	教 育 関 係 団 体
土 井 池 弘 次	民 生 児 童 委 員 関 係
三 宅 武 夫	福 祉 関 係 団 体
塩 見 一 義	福 祉 施 設 役 職 員
阿 部 義 則	ボ ラ ン テ ィ ア 関 係
佐 藤 昭	
川 西 仁	学 識 経 験 者 関 係
森 廣 一	
前 田 実	
大 垣 賢 次 郎	
佐 和 良 佳	

監事2名(敬称略)

任期:令和7年6月27日の定時評議員会終結のときから令和9年6月の定時評議員会終結の時まで

氏名	選出区分
藤 野 和 良	学 識 経 験 者 関 係
大 塚 雄 彦	

評議員23名(敬称略)

任期:令和7年6月27日の定時評議員会終結の時から令和11年6月の定時評議員会終結の時まで

氏名	選出区分
住 友 礼 子	社 会 福 祉 行 政 機 関
西 谷 範 子	保 健 ・ 医 療 関 係
磯 田 弘 文	住 民 組 織 代 表 者
園 原 義 正	
津 川 定 美	
谷 明 幸 子	
豊 島 佳 幸	
丸 石 勇 子	福 祉 関 係 団 体
大 山 百 合 子	
西 岡 裕 美 尚	福 祉 施 設 関 係
西 内 義 誠 治	
黒 岩 誠 美 香	ボ ラ ン テ ィ ア 関 係
眞 鍋 芳 樹	
堤 中 順 子	
森 笠 京 子	
小 荒 井 泉 代	
中 江 明 次 孝	学 識 経 験 者 関 係
藤 本 高 美 明	
立 道 邦 伸 也	
南 高 木 伸 也	

評議員選任・解任委員5名(敬称略)

任期:令和7年6月27日の定時評議員会終結の時から令和11年6月の定時評議員会終結の時まで

氏名	選出区分
澤 田 篤 也	外 部 委 員
西 前 清 美	
近 見 村 子	監 事
藤 野 和 良	
加 藤 俊 治	事 務 局 員

令和6年度事業ならびに決算報告

令和6年度の事業ならびに決算が6月の理事会・評議員会で承認されました

令和6年度事業報告(要旨)

※ 総…総務課 地…地域福祉課 在…在宅福祉サービス課

1 地域共生社会の実現に向け、多様な実践を図ります。

- 総 市社会福祉大会の開催、社協だよりやホームページ等広報の活用により、地域での福祉活動の推進や啓発活動に取り組みました。
- 地 住民座談会や研修会を経て、住民参画による策定委員会を開催し、重層的な圏域の中で、官民協働で地域生活課題等を解決するための仕組みとネットワークをつくる第4次地域福祉活動計画を策定しました。
- 在 地域との交流、ボランティアの受け入れを通して、地域に寄り添った施設づくりに取り組みました。

2 福祉を支える人材(福祉人材)の確保・育成・定着を図ります。

- 総 福祉人材の確保、持続可能な経営基盤の確立をめざし、給与体系等の一体的な見直しに取り組みました。
- 地 ボランティアコーディネートを通して、学生や地域住民のボランティアの機会を設け、福祉人材育成に取り組みました。また、介護予防サポーター養成やフォローアップ研修、認知症サポーター養成等各種講座を開催しました。
- 在 介護職員等処遇改善加算等を活用し、介護職員等の処遇改善に取り組みました。

3 福祉サービスの質と向上を図ります。

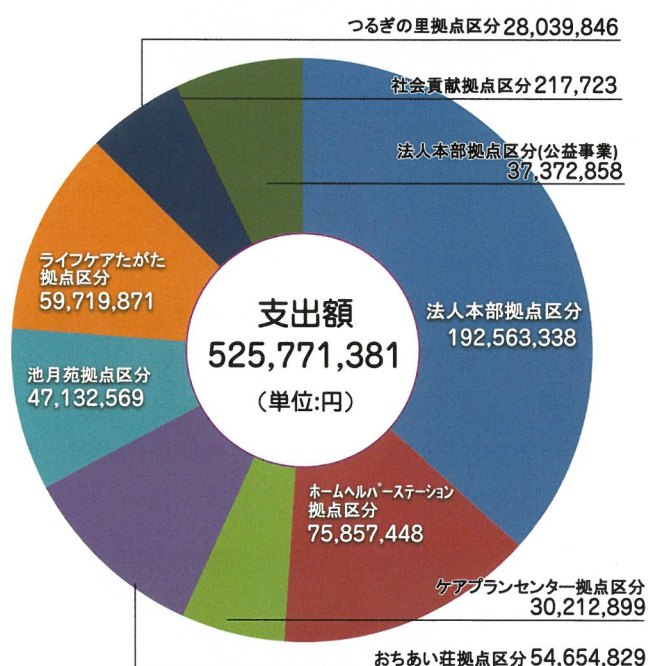
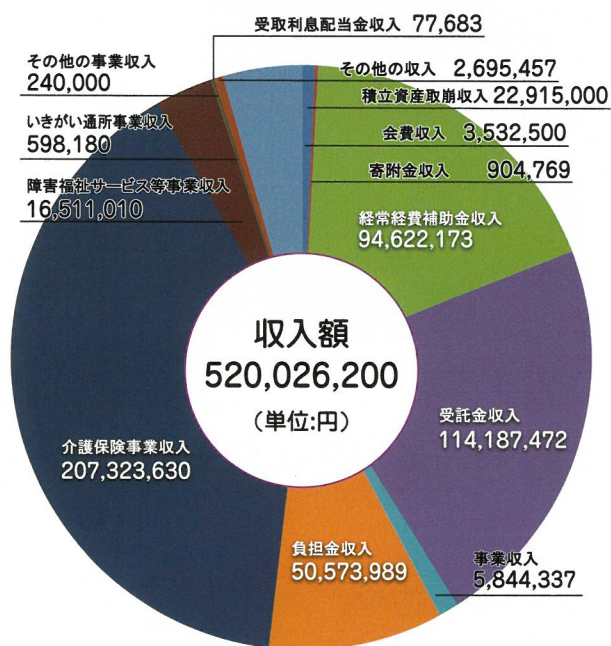
- 総 安全衛生委員会を定期開催し、業務の効率化やサービス向上を図りました。また、役職員が四国地域福祉実践セミナーに参加し、地域共生社会への理解を深め、スキルアップに取り組みました。
- 地 第4次地域福祉活動計画の策定を通して、職員のスキルアップと内部連携の向上に努めました。また、生活困窮者自立支援や権利擁護支援等の個別支援では、関係機関や関係者と密に連携し、当事者に寄り添った支援に取り組みました。
- 在 全体会議を通して、各事業所の課題解決に向けた協議に併せ、ヒヤリハットや苦情等も共有し、レベルアップに努めました。

4 福祉の組織強化・基盤強化を図ります。

- 総 理事会・評議員会等各種会務を開催し、安定した組織体制、運営に向け協議を重ねました。
- 地 地域活動訪問や困難事例把握に努め関係機関との協働に取り組みました。また、地域活動への助成を通して、社協会員会費や共同募金運動への理解に努めました。
- 在 収支改善に向けて継続的に取り組むとともに、次期指定管理施設の受任に向け、今後の見通しについて検討を重ねました。

5 災害発生時の迅速な支援ができるよう、平時から体制整備を図ります。

- 総 市内の社会福祉法人で協働し、災害発生時の円滑な連携に向けて防災研修会を開催し、他法人職員と顔の見える関係構築につなげました。
- 地 円滑な災害ボランティアセンター設置・運営に向けて、検証訓練の実施や各種訓練に参加しました。また、被災地支援として石川県志賀町災害ボランティアセンターに職員を派遣しました。
- 在 デイサービス事業所において、利用者、支援ハウス入居者とともに避難訓練等を行い、平時から災害発生時利用者支援の体制整備を図りました。



「美馬市災害ボランティアセンターの活動支援に関する協定を締結」

5/30 美馬市役所 101・102 会議室



脇ライオンズクラブと美馬市と美馬市社会福祉協議会の三者による災害ボランティアセンター活動支援に関する協定を締結しました。

(各地で多発している地震もあることから、)発災後いち早く立ち上げる災害ボランティアセンターの運営に向けて脇ライオンズクラブより、資器材からボランティアの輸送手段まで地元会員の専門性を活かした物的・人的支援を受ける内容となっています。

この締結で、災害ボランティアセンターの迅速で円滑な支援や、被災者の早期生活再建への支援につながることが期待されます。

脇ライオンズクラブの大舘会長からは、「美馬市のために、少しでも何かのお役に立ちたい。」と力強いお声をいただきました。



介護予防サポーター養成研修会・フォローアップ研修会の開催

8/17 美馬市農村環境改善センター



地域の居場所(サロン、いきいき百歳体操等)で、地域活動支援などを行っていただく介護予防サポーターの「養成研修会」、「フォローアップ研修会」を開催しました。

養成研修会では、ボランティア活動や美馬市の介護保険に関する基礎講話を受講した17名が新たに介護予防サポーターとして登録されました。

フォローアップ研修会では、介護予防サポーター33名が地域活動で活用できるデュアルタスク(二重課題)運動を学びました。

介護予防サポーターの皆様には、引き続き地域での活躍を期待しています。

第3次地域福祉活動計画の活動報告会

4/21 ミライズ市民ホール

各地区の実行委員長から、7年間(平成30年度から令和6年度)の取り組みについてご報告いただきました。

各地区とも、実行委員会が中心となり、幅広い世代が参加できる研修会やイベントの開催、地域の絆づくり・助け合い活動の推進、防災意識の啓発、健康イベントの開催、環境美化活動等多くの地域住民の皆さんに参加いただきながら、第3次計画の基本目標に沿った取り組みが展開されました。

7年間、地域福祉の向上にご活躍いただいた実行委員の皆さまに感謝申し上げます。



第4次地域福祉活動計画 ミマモール活動・ミマモール会議について

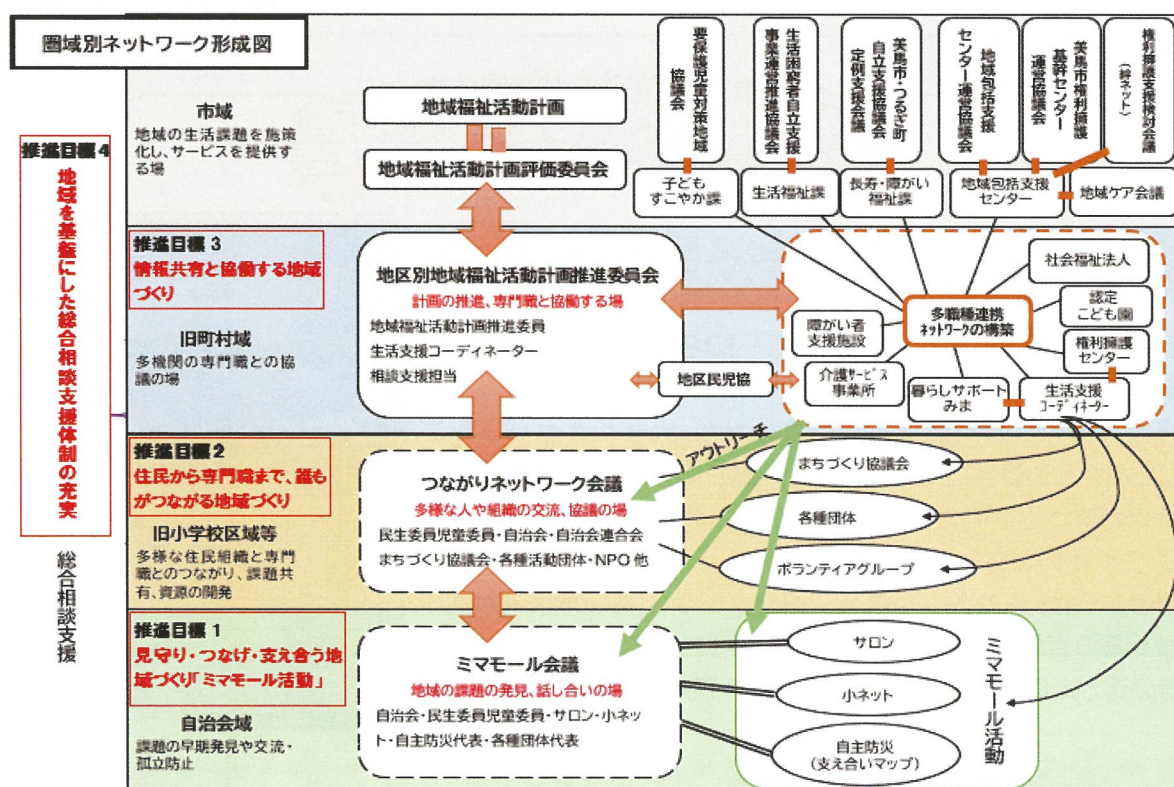
本会では、令和7年度から推進する第4次美馬市地域福祉活動計画と、地区別(美馬・脇町・穴吹・木屋平)活動計画を策定いたしました。この計画は、美馬市の包括的な支援体制を目指すもので、基本理念を「見守り・つなげ・支え合う共生の地域づくり」とし、市域・旧町村域・旧小学校区域等・自治会域において、各圏域ごとに推進目標、推進項目を定め、「誰もが住み慣れた地域で、その人らしく暮らせる地域社会の仕組み」をみんなで作る計画としています。

下の図は、第4次地域福祉活動計画の圏域別ネットワーク形成図になります。少子高齢化や人口減少の課題に加え、新型コロナウイルスの影響もあって、希薄化した地域のつながりや支え合いを強固なものとするためには、地域での気づきが一層重要といえます。

そのために、自治会域でのミマモール活動(地域のサロン、見守り活動、自主防災の支え合いマップを一体的に推進する活動)と、それらの活動で発見された課題等を話し合うミマモール会議を推進していきます。

この計画の策定アドバイザーである井岡仁志氏からは、「地域福祉は、一部の人が頑張るものではなく、美馬市民みんなの参加によるものです。」との言葉がありました。

住民の皆さんには、この図の中で何ができるのか、どこに参加できるのか、また活動がどこにつながったらいいのか、それによって問題がどのように解決していくのかを共に考えていただきたいと思います。



～ミマモール活動・ミマモール会議の推進について(お願い)～

第4次地域福祉活動計画に基づき、ミマモール活動とミマモール会議を推進するため、推進委員の皆さんと協力しながら、私たち生活支援コーディネーターが地域へ出向きます。

ミマモール活動・ミマモール会議へのご協力をお願いいたします。



※生活支援コーディネーターは住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、個別支援のほか、個人の困りごとを地域の課題として捉え、様々な関係機関や住民と連携しながら、課題解決に向けた仕組みづくりをすすめる専門職です。



祝百寿



篠原 里利 さん

生年月日 大正14年3月1日

美馬市社協ケアプランセンターをご利用いただいている篠原里利さんに、入所施設にて百寿のお祝いをさせていただきました。

大垣会長からの「百歳になられてもお元気ですね」という声掛けに、「施設では心細くなることもあるが周囲の皆さんに迷惑をかけないように自分で食事を摂ったり、できることは頑張っています」と笑顔でおっしゃっていただきました。

これからもお元気でお過ごしください。百歳おめでとうございます。



地域との交流

2代目おもちゃ箱による影絵 池月苑

7月3日、『2代目おもちゃ箱』のメンバー10名が来訪してくださり、影絵を披露してくれました。

昔見た白黒の影絵を想像していましたが、大きくスクリーンに映し出されたものは色とりどりで皆さん驚いていました。童謡に合わせた影絵が映し出されたときは全員で歌い、昔話は影絵に合わせて披露してくれました。

利用者からは「きれいだったなぁ」「懐かしいなぁ」などの声があり、おもちゃ箱の皆様は「また来てくださいね」と声をかけていました。利用者の皆さんは顔をほころばせ、楽しい一時を過ごされました。



木屋平幼稚園との交流会 つるぎの里

7月2日と4日に、木屋平幼稚園の園児が七夕の手作り短冊を持参し、つるぎの里へ訪問してくれました。

幼稚園で練習された“きらきら星”などの歌や楽器の演奏を披露してくれました。また、利用者から園児への質問コーナーでは「好きな色はなんですか?」「将来の夢はなんですか?」などといった質問に、園児はしっかりとした口調で答えてくれました。

コロナ禍であったため久しぶりの訪問であり、また木屋平では、小さな子どもさんとのふれあい自体が大変貴重な経験となっていることから、利用者の皆さんはいつも以上に笑顔で楽しく過ごされていました。

木屋平の福祉活動紹介

「森遠自主防災会防災訓練」

お宝発見
2025年度

森遠自主防災会では、普段から防災意識を高めておくことを目的に、毎年防災訓練を全戸参加で実施しています。

訓練内容は、参加者で防災食の試食、消火訓練等を行うほか、住民同士で災害への備え等について話し合いを行っています。一昨年からは、災害発生時、男性は救助活動に出向く可能性が高いことから、女性だけでも消火ホースの準備や接続ができるように、地元消防団から指導を受けて消火訓練に取り組んでいます。

高齢化が著しい地域であることもあり、災害が起こった際に自分の身は自分で守ること（自助）、身近な人と協力して助け合うこと（共助）が根付いています。

消火ホースのつなぎ訓練



活動報告

木屋平地区全体の集まりの場（ひとり暮らしお楽しみ昼食会）で訓練の報告を行い、木屋平全体の防災力、福祉力を高めることを推進しました。



活動の効果

- ・ 安否確認
- ・ 地域交流
- ・ 地域のつながり
- ・ 支え合い
- ・ 見守り見守られ
- ・ 地域防災力の強化

実習生受入報告

本会では、将来の地域福祉を担う人材の育成を行っています。社会福祉士を目指す大学生、田村 六花さん（4年）、川又 渚咲さん（3年）、藤本 英里さん（3年）が、25日間（8/12～9/12）のソーシャルワーク実習を終えました。

実習に際して、多くの住民の皆さまにご協力いただきありがとうございました。

実習を通して地域活動の実践を学び、地域の課題について考えることができました。





社協会費にご協力をお願いします



社協会費は地域福祉推進の基盤となります。

美馬市社会福祉協議会は、“住民主体”の地域福祉活動の実施のため、会員制度をとっています。今後、さらに充実した事業をすすめていくためにも、ご理解ご協力をお願いいたします。

◇会員の区分

普通会員(会費一口 500円)
特別会員(会費一口 1,000円)

全世帯のみなさまに普通会員として加入をお願いしています。その中で、特に社協の福祉事業推進に、ご賛同ご協力いただける方は、特別会員として、ご協力をお願いいたします。

◇会員募集推進期間

10月1日～10月31日

会員(会費)の募集は、毎年10月に福祉委員(自治会長)を通じて、全世帯にお願いしています。自治会一括納入の自治会も会員把握のために、会員名簿の提出をよろしくお願いいたします。



善意銀行からのお知らせ



善意銀行のはじまり

善意銀行は昭和37年に徳島県で創設された制度です。

銀行のように寄付金品と人(ボランティア)を預かり、必要に応じて配分や派遣をするという、当時としては独創的な発想と先駆的な方法が大きな反響を呼び全国に広がりました。



対象の機器が
拡充されました!

令和6年度の善意

令和6年度は以下の善意が寄せられました。

一般寄附金	10 件	844,769円
香典返し寄附金	1 件	60,000 円
物品預託	49 件	492,736 円相当

ご協力ありがとうございました。

お寄せいただいた善意は住宅火災等の見舞金、地域福祉活動事業、緊急食料品等給付事業、認知症高齢者等GPS貸付事業等に使われています。

認知症高齢者GPS機器導入費用助成について

徘徊の恐れがある認知症高齢者の家族が、位置情報サービスによる見守りをする場合に購入する見守り端末の購入費を助成します。※事前に申請が必要です。

- ☐ 助成申請できる方 : 美馬市内に住所を有する在宅の徘徊高齢者等を介護されている方
- ☐ 助成対象経費 : 本会が指定する機器を利用する際の初期導入費用。
※通信料や月額利用料等については、利用者負担となります。
- ☐ 助成金額 : 19,000円を上限(助成は1回のみ)
- ☐ 申請に必要なもの : 印鑑



【問い合わせ先】 総務課 53-7432